

## 今週のテーマ

1. 一週間のまとめ
  - (1) 与党陣営の動き  
～アイサミ元石油相ら逮捕～  
..... 1p
  - (2) 野党陣営の動き  
～MCM氏とロサレス氏 週末協議?～  
..... 3p
  - (3) 外国の動き  
～ペトロ大統領 与野党に提案～  
..... 3p
  - (4) 今週、来週の主なイベント  
..... 5p
  - (5) 債券の元利不払い状況  
..... 6p
2. 候補者変更期限を巡る野党の選択肢  
..... 7p

## 債券指標の動き

3. ベネズエラ債券・経済指標の増減  
..... 12p

## カントリーリスク分析

**PO Polianalitica** @polianalitica · 12h  
 Este fin de semana se dará una posible reunión entre Manuel Rosales y María Corina Machado.

"La conversación no sería entre ambos, sino que se incorporaría la propia Plataforma Unitaria para tomar decisiones que involucren a la tarjeta MUD".

Vía: @DiarioTalCual



(写真) Polianalitica

“今週末 MCM氏とロサレス氏が協議?”

### 一週間のまとめ (2024年4月7日～4月13日)

#### (1) 与党陣営の動き ～アイサミ元石油相ら逮捕～

4月9日 タレク・エル・アイサミ元石油相、シモン・セルパ財相、サマーク・ロペス氏が逮捕された ([「ベネズエラ・トゥデー No.1048」](#))。

3名の中でもアイサミ元石油相の逮捕は特にセンセーショナルに報じられている。

アイサミ元石油相は、故チャベス政権時代から内務相に就いていた与党重鎮でマドゥロ政権下では石油相の他に、副大統領・経済担当副大統領などを歴任。与党内で強い権力を築いていた人物である。

## POINT

### 検察庁 アイサミ元石油相らの逮捕を発表。

### 事件発表から1年以上が経過しての逮捕。

### マドゥロ大統領 汚職犯・売国奴を終身刑にするための憲法改定を提案。

そのアイサミ元石油相が失脚したのは2023年3月。

検察庁は、「一部のグループが、デジタル通貨 Petro を悪用し、原油やその他地下資源の販売で得た利益を着服していた」と発表。同汚職取引に関与したとして、今回逮捕されたアイサミ元石油相らを含めてこれまでに57名が逮捕されている。

アイサミ元石油相は同汚職スキームの中心を担う人物であることは明白だったが、政治的な影響が大きいことを考慮してか、当時は石油相を辞任するのみで逮捕には至っておらず、約1年が経過して逮捕に至った。

アイサミ元石油相の派閥に属する人間が与党内に残ることはマドゥロ政権にとってリスクになる。シモン・セルパ元財相が逮捕されたのは、アイサミ元石油相の派閥の人間を政界から追い出すためだろう。

また、4月13日 マドゥロ大統領は「裏切り者、売国奴、汚職犯は法律をないがしろにしている。私は憲法改定が必要な時期が来たと考えている。我々の憲法に、汚職に対する終身刑を加えることを提案する」と発言。憲法改定を提案した。

憲法改定には国民の同意が必要で、選挙で過半数の賛成を得る必要がある。

7月28日に大統領選を控える中、憲法改定選挙を実施するのか現時点では不明だが、仮に7月28日までに憲法改定選挙を行うのであれば、相当にタイトなスケジュールになることは間違いない。

また、「裏切り者、売国奴、汚職犯」という訴えは、与党が政敵を抹消するための常套手段である。

最近では「ファシスト取締法」「非政府系団体管理法」など反政府的な活動を行うグループを取り締まる法律が国会内で検討されており、野党グループへの締め付けが更に厳しくなりそうだ。

## POINT

MCM 氏、ロサレス氏、  
統一プラットフォーム

今後の方針を決めるため週末に協議を実施か。

## ペトロ大統領 訪ベネ

マドゥロ大統領・ロサレス氏に対して「政治的な平和のための提案」を行う。

## (2) 野党陣営の動き ～MCM 氏とロサレス氏 週末協議?～

「選挙管理委員会 (CNE)」の定めたスケジュールによると、4月20日が候補者変更期限。同日以降の候補者の変更は投票画面に反映されない。

野党は重要な局面を迎えているが、今週の野党に特筆すべき動きはなかった。

マリア・コリナ・マチャド氏 (MCM) および「野党統一連合 (MUD)」は、これまで通り MCM 氏が後任に指名したコリナ・ジョリス氏の出馬を模索。

一方、マニュエル・ロサレス氏のグループは「野党統一候補を決める必要がある」と主張。MUD に対して早急に決断を下し、候補者を変更するよう求めている。

そんな中、ベネズエラ人記者ビクトル・アラジャ氏は自身のソーシャルメディアにて「今週 MCM 氏とロサレス氏と統一プラットフォームが協議を行う可能性がある。ロサレス氏の確約を待っている段階。野党はお互いに不信感を抱いているが、統一方針を決めるために動いている」と投稿した。

4月20日は野党にとって重要なターニングポイントであり、この日を前に野党内で何らかの決断をすることが求められている。野党にどのような選択肢が残されているのかについては、本稿「2. 候補者変更期限を巡る野党の選択肢」を参照されたい。

## (3) 外国の動き ～ペトロ大統領 与野党に提案～

今週はコロンビアからペトロ大統領がベネズエラを訪問。

マドゥロ大統領および「新時代党 (UNT)」から出馬したマニュエル・ロサレス氏と会談を行った。

ペトロ大統領は「ベネズエラに必要なのは政治的な平和」と指摘。

マドゥロ大統領とロサレス氏に政治的な平和のための提案を行った ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1049」](#))。

ただし、ペトロ大統領と MCM 氏は協議を行っていない(ペトロ大統領が MCM 氏に協議を要請しなかったのか、MCM 氏が協議を拒んだのかは不明)。

## POINT

ジョリス氏は「野党を代表しているのは MUD の統一候補に指名された MCM 氏であり、ロサレス氏は野党を代表していない」と主張。「ペトロ大統領は野党に対して提案を行っていない」との認識を示した。

なお、4月11日 コロンビアの Luis Gilberto Murillo 外相はワシントンを訪問。「我々は一方向的な制裁は存在するべきではないと考えている」「ベネズエラやキューバを含めてどの国に対する制裁にも合意しない」との見解を示した。

**ベネズエラが重要な局面にある中、米国・コロンビア・ブラジルが関与。**

また、4月17日にはブラジルのルラ大統領がコロンビアを訪問し、ペトロ大統領と協議を予定している。ラテンアメリカの国際情勢についても議題に上がっており、ベネズエラの大統領選についても意見交換を行うことだろう。

4月18日 ベネズエラの石油・ガス産業への制裁緩和を定めた制裁ライセンス No.44 が有効期限を迎える。

4月9日 米国政府は「国家安全保障会議 (NSC)」の Daniel Erikson 氏をメキシコに派遣。マドゥロ政権のホルヘ・ロドリゲス国会議長(与党協議団代表)と意見交換を行った。

米国政府は協議の詳細についてコメントを避けた一方で、マドゥロ政権は「移民政策と制裁緩和について意見交換を行い、我々は米国政府に対して介入行為を批判し、制裁の完全解除を要請した」と声明を発表している。

重要な局面にある中、ベネズエラ国内だけではなく、国際社会が動いている。

## (4) 今週、来週の主なイベント

本稿「[2. 候補者変更期限を巡る野党の選択肢](#)」にて詳細は記載するが、4月20日は大統領選候補者の変更期限である。また、4月18日は石油・ガス産業の制裁ライセンスの有効期限。来週は重要なイベントを控えており、ベネズエラにとって重要な週になる。来週、野党及び米国がどのような対応を採るのかによって、今後のベネズエラの将来が左右されると言っても過言ではない。

なお、前述の通り、制裁ライセンス No.44 は4月18日に失効するが、通常だと失効当日に更新されることはなく、失効する2・3日前に更新されるのが一般的。つまり、米国政府は4月15日(月曜)～17日(水曜)までに制裁ライセンス No.44 について発表をすと思われる。

表： 4月7日～4月13日に起きた主なイベント

日付		内容
4月	7日	日 EU選挙監視団 ベネズエラに到着
	8日	月
	9日	火 アイサミ元石油相・セルバ元財相ら逮捕
		コロンビアのペトロ大統領が訪ベネ、与野党に政治平和のための提案
		米バイデン政権・マドゥロ政権 メキシコで協議
	10日	水
	11日	木
	12日	金
	13日	土 マドゥロ大統領 汚職犯を終身刑にするため憲法改定を提案

表： 4月14日～4月21日に予定されている主なイベント

日付		内容
4月	14日	日
	15日	月
	16日	火
	17日	水
	18日	木 米国 制裁ライセンスNo.44の有効期限
	19日	金 独立記念日 国民の祝日
	20日	土 大統領選 候補者変更期限(以後の変更は投票画面に反映されず)
	21日	日

## (5) 債券の元利不払い状況

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（4月12日時点）

（単位：100万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債19	19年10月13日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,353.5	3,848.5
	国債24	24年10月13日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,440.9	3,935.9
	国債25	25年4月21日	7.65%	4/21 10/21	1,600	795.6	2,395.6
	国債26	26年10月21日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,291.3	5,291.3
	国債23	23年7月5日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,170.0	3,170.0
	国債28	28年5月7日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,202.5	3,202.5
	国債18	18年12月1日	7.00%	6/1 12/1	1,000	455.0	1,455.0
	国債20	20年12月9日	6.00%	6/9 12/9	1,500	585.0	2,085.0
	国債34	34年1月13日	9.38%	1/31 7/13	1,500	914.1	2,414.1
	国債31	31年8月5日	11.95%	2/5 8/5	4,200	3,262.4	7,462.4
	国債18	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	300	265.7	565.7
	国債18F	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	752	666.0	1,418.0
	国債22	22年8月23日	12.75%	2/23 8/23	3,000	2,486.3	5,486.3
	国債27	27年9月15日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,405.0	6,405.0
	国債38	38年3月31日	7.00%	3/31 9/31	1,250	568.8	1,818.8
グレースピリオド満了未払					31,092	19,861.8	50,953.8
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA26	26年11月15日	6.00%	5/15 11/15	4,500	1,755	6,255.0
	PDVSA24	24年5月16日	6.00%	5/16 11/16	5,000	1,950	6,950.0
	PDVSA21	21年11月17日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,400	3,794.5
	PDVSA35	35年5月17日	9.75%	5/17 11/17	3,000	1,901	4,901.3
	PDVSA220	22年2月17日	12.75%	2/17 8/17	3,000	2,486	5,486.3
	PDVSA27	27年4月12日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,129	4,128.8
	PDVSA37	37年4月12日	9.75%	4/12 10/12	1,500	1,024	2,523.8
	PDVSA22	22年10月28日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,170	4,170.0
	PDVSA20	20年10月27日	8.50%	4/27 10/27	1,684	930	2,614.1
グレースピリオド満了未払					27,078	13,745.8	40,823.6
電力債18	18年4月10日	8.50%	4/10 10/10	650.0	359.1	1,009.1	
グレースピリオド満了未払					650.0	359.1	1,009.1
合計					58,820	33,967	92,787

(出所) Av Security よりベネインベストメント作成

## POINT

来週4月20日は、大統領選の候補者変更期限。

同日以降の候補者の変更は投票画面に反映されず。

4月20日を前に今後のベネズエラの政治シナリオについて考察。

## 2. 候補者変更期限を巡る野党の選択肢

4月20日は、一般的に言われる大統領選の候補者変更期限。同日以降の候補者変更は投票画面に変更候補が反映されない。

4月20日以降の候補者変更はかなりイレギュラーな状況であり、本来であれば候補者の変更は4月20日までに行われるべきだろう。野党の中でも「4月20日までに今後の方針を決めるべき」という意見は多く、来週は重要な週になる。

重要なタイミングということもあり、本稿では4月20日から大統領選（7月28日）までのベネズエラの政治シナリオを整理してみたい。

次ページの図が、筆者の考える今後の政治シナリオ。

緑色で塗られている部分は既に起きた事象。

水色で塗られている部分は筆者が起きる可能性が高いと考える事象である。

「[1. \(2\) 野党陣営の動き](#)」で紹介した通り、野党（MUD）内では「4月20日以降もジョリス氏の出馬を模索するべき」というグループと「ジョリス氏の出馬は断念し、ロサレス氏を野党統一候補にするべき」というグループに分かれている。

次ページの図の通り、4月20日を前に考えられるMUDの選択肢は3つ。

1つ目は「ジョリス氏の出馬の模索を継続する選択」

2つ目は「MCM氏とMUDが共にロサレス氏を野党統一候補にする選択」

3つ目は「MCM氏を除き、MUDがロサレス氏を野党統一候補にする選択」の3つである。

## (1) ジョリス氏の出馬の模索を継続する選択

1つ目の選択肢は「ジョリス氏の出馬の模索を継続する選択」。

MUDはジョリス氏の出馬を目指し与党との折衝を継続する。

一方、ロサレス氏は、4月20日以降もMUDの推薦を受けることなく、「新時代党（UNT）」の候補としての出馬を継続する選択肢である。

2024年1月3月  
4月5月6月  
7月

## 2024年 大統領選までの政治シナリオ



コリナ・ジョリス  
MCM氏の代理候補

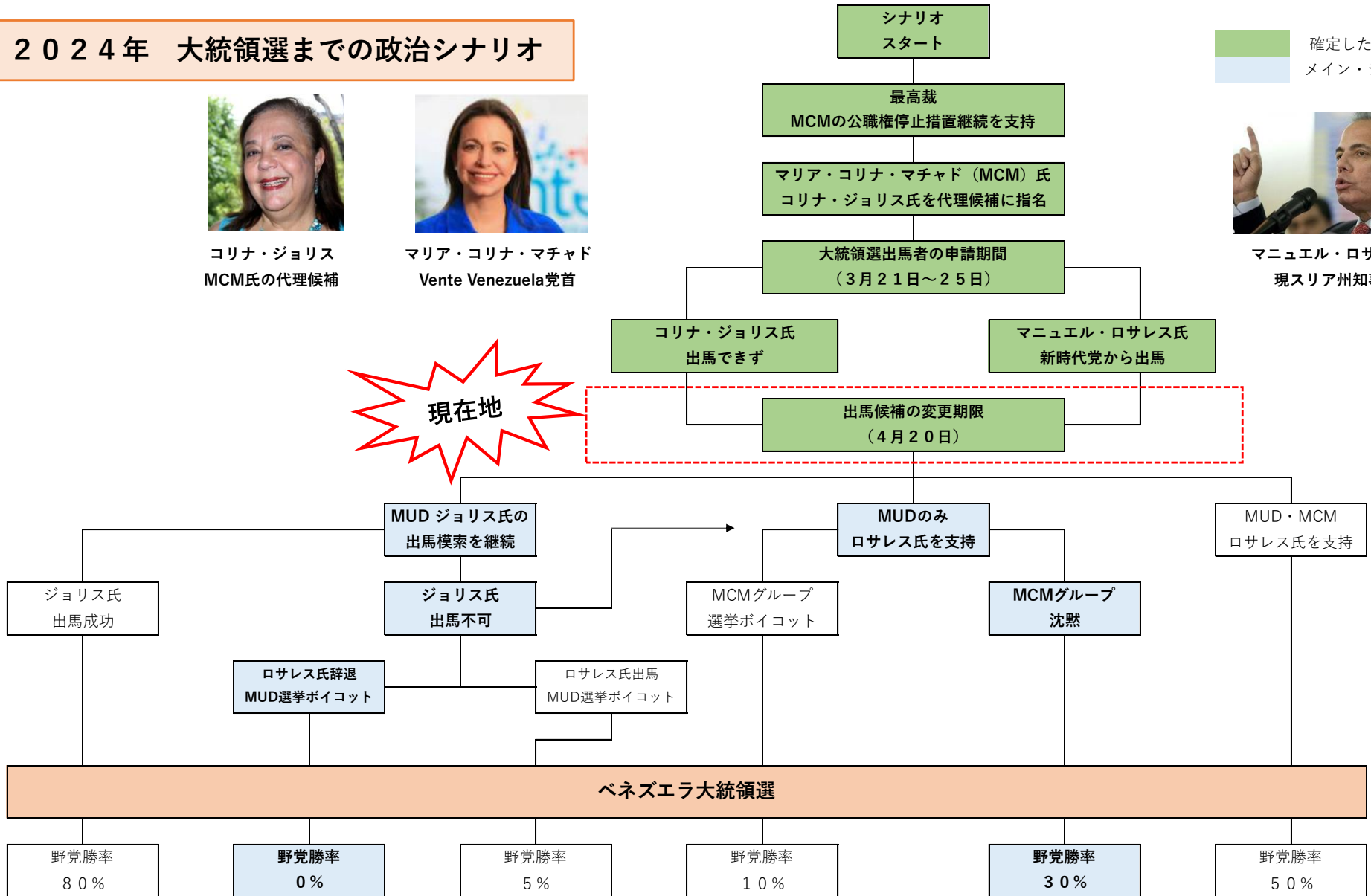


マリア・コリナ・マチャド  
Vente Venezuela党首

確定したシナリオ  
メイン・シナリオ



マヌエル・ロサレス  
現スリア州知事



野党勝率  
80%

野党勝率  
0%

野党勝率  
5%

野党勝率  
10%

野党勝率  
30%

野党勝率  
50%



## POINT

**「ジョリス氏の出馬模  
索を継続」****実現はかなり難しく、****最終的に「ロサレス氏  
を統一候補にするか」****「選挙ボイコットか」  
の選択を迫られる可能  
性大。****選挙ボイコットをした  
場合、2018年の大  
統領選の再来。**

別の言い方をすれば、現状維持の選択である。

個人的には、野党はこの選択肢を選ぶ可能性が一番高いと考えている。

この選択肢の最大のメリットは、「仮にジョリス氏が出馬できた場合、マドゥロ大統領に選挙で勝てる可能性はかなり高い」「野党として、これまで掲げてきた方針と矛盾しない」という点。

ただし、筆者の認識ではマドゥロ政権がジョリス氏の出馬を認めるとは思えない。「[ウィークリーレポート No.350](#)」で紹介した通り、与党 PSUV のカベジョ副党首は「選挙手続組織法の条文に照らして、ジョリス氏が代理候補として出馬する可能性はない」と断言している。

カベジョ副党首の解釈に異議を唱えたい人も多いことだろうが、与党に有利な解釈が採用されるのがベネズエラである。筆者は、ジョリス氏の出馬を模索する努力は徒労に終わると考えている。

そしてジョリス氏の出馬が叶わない場合、いつか MUD は「ロサレス氏を統一候補にするか」「選挙ボイコットを呼びかけるか」の選択を迫られることになる。

MUD が選挙ボイコットを選んだ場合、ロサレス氏は出馬を辞退する可能性が高い。ロサレス氏は「自分は野党が選挙に参加する道を残すため出馬した」「自分は MUD の一員であり、必要なら候補を辞する」と言及している。

MUD が最後まで自分を支持しないのであれば、野党の団結を優先し、ロサレス氏も出馬を辞退するのではないかと。

選挙ボイコットを選んだ場合、国際的にマドゥロ政権の正当性に疑義が生じたままの状態でも 2025 年以降もマドゥロ政権の実効支配が続く。制裁緩和に向けた米国との交渉も仕切り直しになる。

マドゥロ政権は選挙ボイコットを掲げた野党の取り締まりを強化。経済制裁が維持・強化されることによりベネズエラ経済は浮揚しないまま政治的な対立が加速する。これが最悪のシナリオだが、現実になってしまう可能性は決して低くないだろう。

## POINT

**「ロサレス氏を統一候補にする」**

**選挙で勝てる可能性を維持しつつ、敗北後も野党が活動を続けられるプラン。制裁緩和もあり得る。**

**選挙で勝つためにはMCM氏の支持が重要になるが、MCM氏はロサレス氏支持に抵抗感強い。**

**(2) MCM氏とMUDが共にロサレス氏を野党統一候補にする選択**

「マドゥロ政権は、自由で公平な選挙を実施しない」という現実を受け入れ、マドゥロ政権が用意した土俵の上で選挙を戦う選択肢である。

この選択肢のメリットは、マドゥロ大統領に勝てる可能性を残しつつ、仮に敗北したとしても2025年以降も野党が政界で活動余地を残すことができるという点。状況に応じて経済制裁の緩和も期待できる。

ただし、この選択肢を選ぶにあたりMCM氏の決断が重要になる。

ロサレス氏が選挙でマドゥロ大統領に勝つためにはMCM氏の支持を得ることが望ましい。仮にMCM氏がロサレス氏を支持した場合、選挙でマドゥロ大統領に勝てる可能性は五分五分くらいまで引き上げることができるだろう。

**(3) MCM氏を除き、MUDがロサレス氏を野党統一候補にする選択**

しかし、実際のところMCM氏がロサレス氏を支持する可能性は低い。

MCM氏は急進野党派の政治家で、「マドゥロ政権に譲らない女性」というイメージで売ってきた。しかし、野党統一候補になってからの彼女の行動は、そのイメージと矛盾している。

MCM氏が自身の公職権停止措置を事実上受け入れ、ジョリス氏を後任候補に指名したところまでは何とかメディアを抑えられていた。

しかし、CNEがジョリス氏の出馬申請を妨害したにも関わらず、MCM氏が今も選挙参加の模索を続けていることに苦言を呈する意見が出つつある。これ以上の矛盾は彼女の政治生命に致命傷を与えかねない。

特にロサレス氏は「マドゥロ政権と裏で協力関係にある」というイメージが定着しており、このイメージの拡散にMCM氏のグループが一役買った感は否めない。そのロサレス氏をMCM氏が支持するというのは致命的な矛盾と言える。

## POINT

**「MCM 氏のサポートを受けず、MUD がロサレス氏を野党統一候補に指名」**

**MCM 支持派は「選挙ボイコット呼びかけ」「実質的な沈黙」のいずれかを迫られる。**

**米国の介入があれば、MCM は沈黙を選択するのではないか。**

「ロサレス氏が MCM 氏に対して副大統領のポストを約束することで、自身の支持を求めている」と報じられている。

個人的には悪い話ではないと思うが、前述のような MCM 氏の事情を踏まえると、MCM 氏がロサレス氏支持を表明するのは難しい気がする。

この場合、MUD は選挙でマドゥロ大統領と戦うために、MCM 氏の支持なしで、ロサレス氏を推薦する可能性が出てくる。

この時、MUD は事実上解体することになるかもしれない。

つまり、「新時代党 (UNT)」、「第一正義党 (PJ)」、「行動民主党 (AD)」の3党がロサレス氏支持を表明し、MUD としてロサレス候補を推薦。

MUD 内で MCM 氏を支持する「市民との出会い (EC)」や「大衆意思党 (VP)」は MUD から離脱する。

この時、MCM 氏が「MUD を批判し、選挙ボイコットを呼びかけるか」「選挙は各自の意志で投票すればいい」と実質的に沈黙するか、いずれかの可能性があるだろう。

どちらも十分に考えられるが、米国政府の仲裁があれば、MCM 氏は選挙ボイコットを呼びかけることなく、実質的に沈黙するのではないだろうか。

この時、ロサレス氏が選挙でマドゥロ大統領に勝てる可能性は決して高くない。筆者の認識ではロサレス氏がマドゥロ大統領に勝てる可能性は30%くらいしかない。

この時、米国政府は苦言を呈しつつもマドゥロ政権をベネズエラ政府と認識。2025年1月には政府認識の問題が解消し、制裁緩和に向けた交渉や債務再編の議論が進展するのではないかと想像している。

個人的には、8ページの政治シナリオの順番で最も可能性が高いのは「MUD ジョリス氏の出馬模索を継続」→「ジョリス氏出馬不可」→「MUD のみロサレス氏を支持」→「MCM グループ沈黙」→「大統領選」→「マドゥロ大統領再選」ではないかと想像している。

### 3. ベネズエラ債券・経済指標の増減（4月12日時点）

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比
2018-I	13.625	2018/8/15	-	-	-	-
2018-II	13.625	2018/8/15	18.5	20.2	19.35	4.45
2018	7	2018/12/1	14	15.55	14.78	7.07
2019	7.75	2019/10/13	15.15	16.5	15.83	2.26
2020	6	2020/12/9	14.6	15.85	15.23	0.50
2022	12.75	2022/8/23	19.8	21.25	20.53	1.23
2023	9	2023/7/5	17.25	18.65	17.95	1.27
2024	8.25	2024/10/13	16.75	18.05	17.40	2.05
2025	7.65	2025/4/21	16.45	17.7	17.08	2.25
2026	11.75	2026/10/21	19.75	20.7	20.23	1.13
2027	9.25	2027/9/15	19.55	21.4	20.48	1.61
2028	9.25	2028/5/7	17.55	18.75	18.15	△ 0.95
2031	11.95	2031/8/5	19.4	20.65	20.03	1.78
2034	9.375	2034/1/13	19.15	20.45	19.80	1.67
2038	7	2038/3/31	15.45	16.75	16.10	0.00
電力債 2018	8.5	2018/4/10	7.25	8.75	8.00	13.07

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比
2020	8.5	2020/10/27	79.65	81.9	80.78	0.03
2021	9	2021/11/17	11.4	12.65	12.03	2.12
P 2022	12.75	2022/2/17	14.05	15.65	14.85	1.89
D 2022(N)	6	2022/10/28	7.95	10.45	9.20	5.75
V 2024	6	2024/5/16	10.9	12.4	11.65	8.37
S 2026	6	2026/11/15	11.05	12.3	11.68	7.36
A 2027	5.375	2027/4/12	10.5	11.9	11.20	5.41
2035	9.75	2035/5/17	13.1	14.55	13.83	2.22
2037	5.5	2037/4/12	10.45	11.9	11.18	5.67

	百万ドル	先週比
外貨準備	9,910	0.45

為替レート	ボリ/ドル	先週比
両替テーブル	36.29	0.19
並行レート	39.22	0.93

（出所）Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、Dolar Today

## 解説

ベネズエラ公社債は2週連続でプラスとなった。

ただし、取引額自体は少ない。基本的に米国の制裁ライセンス No.44 に関する報道・発表を待っている段階にある。

来週は制裁ライセンス No.44 の発表が予見されており、債券価格に大きな影響を与えることだろう。

為替レートは、両替テーブル・並行レート共にボリバル安に推移しているが、特に大きな変化はない。

以上